

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
医療英会話 IV	選択	1	5	集中		大下 晴美・Sean Chidlow・ 森 茂
【科目名の英文】 Medical English Conversation IV						
【授業の概要】  カンファレンスや学会で症例報告を英語で行うことができるように、症例報告で用いられる基本的な語彙・表現およびコミュニケーションスキルについての理解を深め、英語での的確な症例報告を行うことができるようになることを目指す。						
【具体的な到達目標】  1. 症例報告の中心となる CASE DESCRIPTION（主訴、現病歴、既往歴等）を英語で書くことができる。 2. 症例報告の中心となる CASE DESCRIPTION（主訴、現病歴、既往歴等）を英語で口頭発表することができる。						
【授業の内容】						
回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法		
1	医療英会話 IV①	Case Description のフォーマット	大下・Chidlow・森	講義・演習		
2	医療英会話 IV②	主訴の述べ方	大下・Chidlow・森	講義・演習		
3	医療英会話 IV③	現病歴の述べ方	大下・Chidlow・森	講義・演習		
4	医療英会話 IV④	既往歴等の述べ方	大下・Chidlow・森	講義・演習		
5	医療英会話 IV⑤	コミュニケーションスキル①	大下・Chidlow・森	講義・演習		
6	医療英会話 IV⑥	コミュニケーションスキル②	大下・Chidlow・森	講義・演習		
7	医療英会話 IV⑦	コミュニケーションスキル③	大下・Chidlow・森	講義・演習		
8	医療英会話 IV⑧	プレゼンテーション・自己評価	大下・Chidlow・森	講義・演習		
【アクティブラーニングの内容】 知識の定着・確認のための小テストおよび演習課題を毎回実施。 学んだ知識をスキルに発展させるためのグループ（ペア）ワーク、プレゼンテーションの実施。			【その他の工夫】 資料等の配布、小テスト・演習課題などで LMS (Moodle) を活用。			
【時間外学修の内容と時間の目安】 事前学修：毎回の小テストや演習課題の準備として、資料等の予習をする（10h）。 授業内のグループ（ペア）活動・プレゼンテーションの準備を行う(15h)。 事後学修：小テストや演習課題を用いて復習する（20h）。						
【教科書】 教科書は指定しない。必要な資料は Moodle に掲載する。						
【参考書】 参考書は指定しない。必要な場合は、授業で適宜紹介する。						
【成績評価方法及び評価の割合】 講義中課題（小テスト、演習課題、グループ（ペア）ワーク）50%、レポート・プレゼンテーション 50%の総合評価が基準点（60 点以上）を満たすことを単位取得の条件とする。						

【注意事項】		
【備考】		
教員の実務経験の有無	×	
教員以外で指導に関わる 実務経験の有無	×	
実務経験をいかした 教育内容		
授業形式	対面	